

### 〈アスファルト乳剤の製造〉

創立から昭和6年迄、わが社は日本ビチュマルス株式会社と代理店契約を結びアスファルト乳剤の使用ならびに代理販売を行い、その後は国産乳剤エムラスとの代理店契約に切替えたが、逐次増加する需要に対し、自社製造の必要に迫られ、11年に至って実施に踏み切った。

秋山三郎（故人・元取締役）が社命を受けて、東京市土木試験所の研究生となり、約1年間アスファルトの研究、乳剤製造の技術を修得し、蒲田区（現大田区）南六郷三丁目に乳剤工場を設置し、わが社に初めてアスファルト乳剤製造の成功をもたらした。

また、その後に進出した北支においても13年に乳剤工場を設置した。

### 〈出張所の開設〉

昭和8年8月	<u>名古屋出張所開設</u>	主任糸賀忠吾
12年1月	<u>札幌出張所開設</u>	所長阿知波幸男
12年1月	<u>福岡出張所開設</u>	

### 〈北支への進出〉

12年7月、緊迫していた日中関係は、蘆溝橋事件に端を発した日中戦争に拡大していったが、それに伴って北支地域への軍備の強化が行われ、その方面への建設業の進出が活発となってきた。

わが社もかねてから進出を企図していたが、丁度12年1月に清水組から、同社が軍特務機関から受注した北京市広安門～蘆溝橋間の舗装工事約13.5kmを一括施工するよう依頼があったため、これを機会に13年4月北京市内六区景山後大街六号に北京出張所を開設することになった。



北京市内舗装工事現場

進出の発端となった広安門～蘆溝橋間の舗装工事の概要は次の通りである。

(終戦引揚げのため正確な記録がなく糸賀・鈴木両氏の記憶による)

延長	約13.5km	幅員	平均10m
工種	基層	在来の花崗岩舗石を砕き敷均	
	表層	厚15cmのセメントコンクリート舗装	
		一部(橋取付部分)小舗石舗装	
工期	着工	13年7月	
	竣工	14年6月	
請負金	約70万円(当時の年間受注額約50万円)		

この工事の思い出を当時の責任者であった糸賀忠吾(元取締役)は次のように述べている。

蘆溝橋畔には、13世紀の頃マルコポーロがこの場所で月見の宴を催したと刻んである記念碑が建っており、舗装延長は約13km半にわたる。昭和12年7月7日夜、日本軍が沿線にある一文字山(日本軍の命名)において演習中支那軍の急襲をうけ、ここに戦端を開き支那事変の緒をなした忘れ難い地域で、小高い山の中腹より左右に延々と続く花崗石をもって敷きつめた昔からの道路であった。

古老の言によれば、その花崗石は清朝時代の古い昔、いずれかから搬入されたもので、大きさは畳一畳以上のもので実に見事に敷きつめてあり、永年の鉄輪等の通過により、幾筋かの溝型を作り昔日の面影は失せ交通上の支障もあるため、軍の要請により着工し、11ヶ月余を費し、花崗石を全部掘起し小割となし敷均し、蘆溝橋附近の坂道の一部を小舗石舗装、他をコンクリート舗装として完成した。

当時は治安が非常に悪く、城外(中国の古都は城壁を巡らし外敵の侵入を防備するために作った)に飯場を置いたが、時折り匪賊の来襲をうけ命がけで逃げたこともあったが、人命には被害がなかった。

このように北京出張所は当初清水組の下請を機として開設されたが、引続いて同年6月には天津出張所を開設し、その後は各所から直接指名を受けるようになり、得意先も中国建設総署、



北京市蘆溝橋舗装  
工事(昭和14年)

北京市公署、京華公通公司、北支派遣軍と発展していった。

また、北支進出の13年に各所得意先の要請により、日産60tの乳剤工場を設置し、各方面の需要に応じた。

### 〈北支日本道路株式会社の設立〉

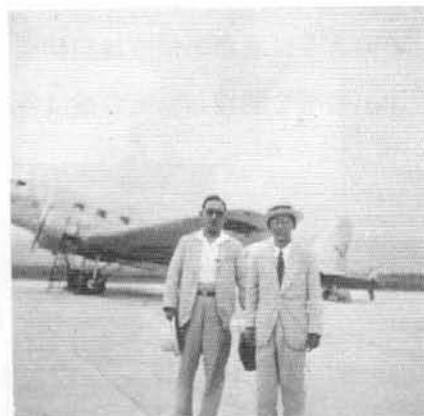
北京出張所は進出以来着実に発展し、その陣容も次のように内地の本社に匹敵する充実振りであった。

所 長	取締役 森保次
工事関係	主任 糸賀忠吾、君塚由明、白石靖、吾妻重吉、小山元治、飯倉正一、 卷下乙四郎、若佐武造、川上小五郎、首藤孝、瀬谷長吉、落合次郎、室 本誠之助、加賀保、池田剛、田中長夫、田口喜一郎、山田豊松
事務関係	主任 鈴木欽吾、横関武雄
現地採用者	10数名
下請業者	黒沢一義、小沢芳雄、久野木源

16年12月、わが国が米英を主軸とする連合国に宣戦を布告するとともに、戦局は日を追って苛烈となり、工事の大部分が軍工事、特に飛行場の滑走路建設工事となった。施工した飛行場は、包頭、張家口、大原、石家荘、南苑、徐州、済南、揚村、唐山等で資材の窮乏下治安が悪く、さらに米軍の爆撃と地上軍の反撃をうけながらの工事施工は困難を極めたが、不平不満を訴える社員もなく、よく工事を完成していったので、その信用は絶大なものであった。



北京出張所前にて当時の職員一同



石家荘飛行場竣工式  
(左：糸賀主事、右：清水常務)

北京進出以来5年を経過した19年11月に、北京出張所は資本金100万円の北支日本道路株式会社として独立し、代表取締役専務に森保次、常務取締役役に糸賀忠吾、鈴木欽吾、監査役に小山元治が就任した。

東京本社との連絡に時日を要し不便であったのと、当時の国の方針が現地利潤は現地へ還元するという趣旨にそったものである。

### 唐山工事

北支日本道路に勤務していた人達が最も印象に残っている工事は、唐山（タンシャン）飛行場の工事である。

唐山は、北京から東へ約150kmの都市で、最近の大地震でも有名な都市である。

終戦の年早々に天津出張所へ軍経理部から電話があり、唐山飛行場の建物および滑走路の総べてを施工するよう依頼があった。同工事は既に大手のゼネコン業者に内定していたが、工事量が膨大なため工期内の完成が困難との理由により辞退したので、わが社にやれというのが軍の本音であったようだ。

森専務、鈴木常務、吾妻天津出張所長が戦局の厳しい非常時下であり、軍の要請に応えるべく真剣に検討したが、何分にも工期が短く工事量が膨大なため、辞退せざるを得ないとの結論に達し、3月10日の朝、軍へその旨を申し出たところが、軍の方では「本工事は軍作戦に関する重要な工事である、辞退するとは何事だ。軍は出来る限り援助をするから是非受けよ」との軍経理部長の直接命令的な言葉で受注せざるを得なくなった。

一方3月10日は、本文中にもあるように森専務が殉職され、当夜はお通夜であった。心痛事が二重に加わった日である。

当時天津出張所では揚村飛行場を施工していたが、同飛行場は佐藤主任に任せ、唐山の方は巻下主任（現専務）に若佐（現参与）、飯倉（故人）主任を両翼として強力なスタッフを組むこととした。

お通夜の席上、鈴木常務は巻下主任に幾度となく「出来るか」と問いかけたが、「出来る」との返事がなく「やれるだけやる」ということであった。

工事は、言葉通り日夜猛烈な突貫作業でやれるだけやっているうちに、3月も過ぎ暖い陽差しの4月に入ると、堅く凍りついた地盤も緩み始め掘削の能率が上がり、また設計変更によって工事量も縮少される等、軍の協力もあって無事完成することが出来、大いに信用を揚げ得たが、時を経ずして終戦となった。

### 〈森専務の殉職〉

終戦の年の20年3月10日に、北支派遣軍経理部長が南苑飛行場を視察するので、会社側は森専務が立ち会うことになり、同飛行場滑走路の補修か所で待っていたところ、操縦未熟な飛行機の練習機が突然飛行場に着陸し、その車輪が逃げ遅れた森専務の頭部に触れ殉職するという

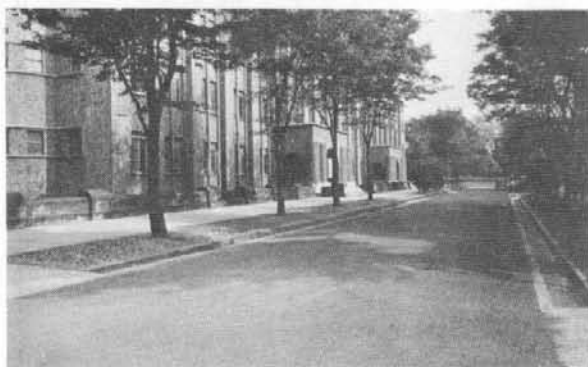
痛恨な事故が起った。

同氏は、昭和12年1月名古屋市役所技師からわが社の技師長として入社以来、北京出張所の責任者として終始し、識見の高い人格者であり、外地の困難な環境のもとで、よく社員を統率し、会社を隆盛に導いた功績はまことに立派であり、本社、北京を通して全社員が故人を偲び哀悼の意を表した。

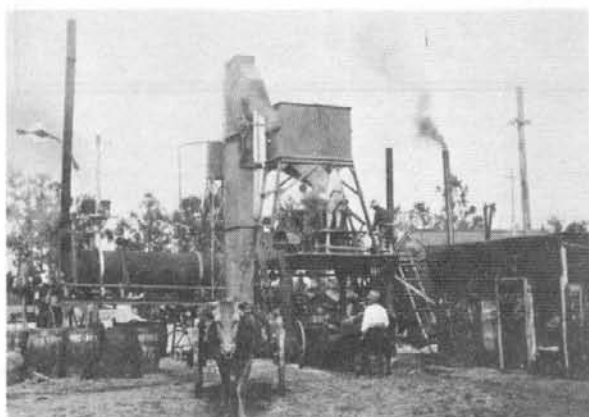
### 〈戦時下における舗装工事〉

戦時下、特に日米開戦の昭和16年から終戦の20年迄は、「道路舗装計画要綱」「道路舗装2箇年計画」等数々の計画が樹てられていたが、当時は戦争遂行に目的が絞られ、急迫した戦局に対応する軍事もしくは軍需に関連した工事のみが実施され、一般道路の舗装は荒廢するのみであった。したがってわが社の一般道路の舗装も激減した。ちなみに16年度以降における当社の軍関係工事を除く舗装工事件数を15年度と比較すると次のようになる。

昭和15年度	20件（1件2,000円以上）
16年度	6件
17年度	10件
18年度	7件



東京帝国大学構内舗装工事（昭和14年）



当時のアスファルトプラント（昭和18年頃）

昭和19年度 4件

施工条件についても、経済情勢は完全な戦時統制下に入り、セメント、アスファルト、鋼材、燃料等の主要機材は極めて逼迫し、応召による人員不足とともに悪化の一途をたどっていったが、一方では代用資材、節約工法の研究が積極的に進められながら終戦を迎えたのである。

### 資材ゼロ

道路事業というものは、本来、社会資本の根幹となるべきものだから、平時にも戦時にもそれぞれの使命を持って、活かされねばならない筈だけれど、戦中から戦後にかけての道路の荒廃ぶりは、全く目を蔽うばかりで、国の隅々まで舗装の行き届いた感のある現在からは、到底、想像もし得ない惨憺たるものであった。

車が走れば土煙りがモウモウと立ち昇るし、第一、車も走るナンテものじゃなかった。道路の表面は穴ボコだらけで、車は右に左に、穴ボコを避けながら、ヨタヨタと前へ進むという有様で、50kmのスピードが出せるのは、よほど優秀な道路だった。

そんな道路を手入れして、少しでも良い状態にと、努力は重ねられていたのだけれど、お金もナイ、物もナイ、という有様で、道路の骨組みとなる砂利や碎石の一粒も手に入らない状態が何年か続いた。

資材節約の舗装工法が、方々で試みられ、砂利道の本体に、僅かばかりのセメントや石灰や、あるいはアスファルトを攪き混ぜて、いわゆる軽舗装がいろいろ研究されたが、現在舗装の基層として広く活用されている「安定処理工法」の基本となったものである。

道路に付随する構造物についても、さまざまな節約工法が実施され、強度を高める必要のあるところには、鉄筋の代用として竹が利用された。竹を2～3cm幅に割って、縦横に組んだものを骨とし、その周りにコンクリートを流し込んで、これを竹筋コンクリートと呼んだ。

セメントも、代用的な品質のものが多くあって、石積みや低い擁壁などには使用されたけれど、舗装路面に耐えられるような高度なものは、はなはだ少なかった。

タールとか、MCとか、サンドアスファルトとか、少しでも路面の固化に役立つようなものは、いろいろに研究され活用されて、一時的には有効なものもあったが、現在まで続いているものは少ない。

### 〈北支日本道路株式会社の解散〉

終戦とともに北支日本道路の事態は一変した。

各地に派遣されていた社員は、それぞれの現場の整理をすませ、北京および天津の会社施設に集結した。

夜間の外出は厳禁、昼間もできる限り外出を控える生活を送ったが、蒋介石政権の指令が徹底し、特に危害はうけなかった。

不安な中のある日、今後の方針を協議した結果

- 引揚げ帰国命令にすぐ対応できるよう各人で準備を完全にしておくこと



- 内地帰還後、直ちに本社へ状況報告を行い、各人の留守宅への連絡を密にすること
- 金庫内の手持現金の大部分は社員に公平に分配し、引揚げまでの生活に備えること

を決定し、ここに北支日本道路の解散を宣し、低く萬才を三唱して焼酎一本をかたむけ涙ながらの解散となった。

## 主たる受注工事

### ◀ 昭和10年 ▶

発注先	工 事 名	場 所	請負金額(円)
(合資)清水組	東京瓦斯大森製造所其他舗装工事	東京府	3,956
電 業 社	電業社蒲田工場諸工事	東京府	8,695
東京湾汽船(株)	大島行者自動車道路舗装工事	東京府	3,030
明昭土木(株)	東京瓦斯大森製造所	東京府	2,750
相馬子爵家	内幸町1-6地内改良下水工事及舗装工事	東京府	7,471
今西組	千葉駅ホーム舗装工事	千葉県	2,110
静岡市役所	市道新通線外20線道路舗装工事用材料供給工事	静岡県	76,500
岐阜市役所	岐阜市金町5丁目都市計画街路車道舗装工事	岐阜県	2,637
愛媛県庁	松山市自河原町至南立花町、宇和島市自船大工町至市立病院乳剤舗装工事	愛媛県	20,649
呉海軍建築部	佐伯航空隊庁舎其他新営内簡易舗装工事	大分県	59,300
富山県庁	富山県高岡市濠町及射水郡能町村大字米島	富山県	25,600
高岡市役所	富山県高岡停車場線舗装工事	富山県	9,338

### ◀ 昭和11年 ▶

(株)栄進社	栄進社鉄骨工場コンクリート打工事	東京府	4,240
原庄組	板橋府立商工学校校庭舗装工事	東京府	3,000
(合資)清水組	鉄道本省屋外舗装工事	東京府	5,900
(株)第一銀行	第一銀行兜町支店西側私道排水及舗装工事	東京府	2,522
浦和市役所	浦和市裁判所前5ヶ所舗装工事	埼玉県	4,776
名古屋市役所	広路第1号線街路舗装並下水工事	愛知県	64,672
大垣市役所	大垣市高屋外側町地内都市計画道路舗装工事	岐阜県	7,930
台南農林(株)	湯ヶ原分譲地内道路舗装工事	静岡県	8,278
愛媛県庁	松山市自松山国鉄前至1番町、自1番町至御宝町舗装工事	愛媛県	19,770
呉海軍建築部	佐伯航空隊庁舎其他新営内簡易舗装工事	大分県	28,500
佐世保海軍建築部	鎮海航空隊内簡易舗装工事	朝鮮	4,400
富山県庁	府県道出町井波線東砺波郡井波町路面舗装工事	富山県	9,121
小樽市役所	2等大路第1浦7号線色内川通街路舗装工事	北海道	42,000

## ◀ 昭和12年 ▶

発注先	工 事 名	場 所	請負金額(円)
東京帝国大学 営繕課	東京帝国大学構内道路1部舗装工事	東京府	25,585
東京市役所	江戸川区本一色町松本町地内路面築造工事	東京府	54,500
東京市役所	都計街路第6号路線1部街路築造工事	東京府	30,800
土長組	池貝鉄工所内舗装工事	東京府	23,300
東武鉄道(株)	館林駅前広場及同貨物道路混凝土側溝及簡易舗装工事	群馬県	8,867
千葉県庁	府県道千葉銚子線海上郡旭町三川町間道路舗装工事	千葉県	18,000
鶴見臨港鉄道(株)	鶴見川橋梁改造其他舗装工事	神奈川県	37,340
名古屋市役所	自鶴舞公園前至国道第12号交叉点既設舗装道補修工事	愛知県	20,196
宇治山田市役所	山田市曾弥町地内市道曾弥町本道線路面舗装工事	三重県	4,970
愛媛県庁	松山市白鮎屋町御室町停留所至東一万字市町界府県道松山道 後線工事	愛媛県	6,545
福岡市役所	福岡市上下呉服町地内都市計画街路舗装工事	福岡県	5,900
長崎県庁	33号国道道路舗装工事	長崎県	8,900
朝鮮総督府内務局	釜山税関構内道路舗装工事	朝鮮	1,630
富山県庁	府県道石動戸出線西砺波石動町大字今石動他1ヶ所	富山県	9,300
魚津町役場	国道11号線魚津町大字自金屋至荒町路面舗装工事	富山県	2,910
小樽市役所	小樽市2等大路第1類人船線街路舗装工事	北海道	59,400

## ◀ 昭和13年 ▶

宮内省	帝室博物館別館前舗装工事	東京府	8,133
六櫻社	東京寫真専門学校校庭テニスコート舗装其他工事	東京府	1,196
(株)清水組	日本火工構内通路及道路構築工事	東京府	2,586
立教高等女学校	立教高等女学校内舗装工事	東京府	1,980
三井合名会社	日比谷私道舗装工事	東京府	2,500
東武鉄道(株)	足利市足利駅前舗装工事	栃木県	2,684
名古屋市役所	市道簗下町街路舗装工事	愛知県	2,858
大垣市役所	大垣市外側町郭町大垣駅前通り舗装工事	岐阜県	7,300
富山県庁	富山県富山伏木線新庄川橋橋面舗装工事	富山県	4,460
井波町役場	富山県井波町町道舗装工事	富山県	3,775
札幌市役所	札幌市都市計画事業北5条線路面改良工事	北海道	61,500



## ◀ 昭和14年 ▶

発注先	工 事 名	場 所	請負金額(円)
東京帝国大学 営繕課	帝国大学構内舗装工事	東京府	3,795
(株)清水組	日立航空機工業(株)立川工場構内舗装工事	東京府	32,955
(株)清水組	読売新聞多摩川飛行場舗装工事	東京府	10,504
中島工務店	蒲田市場広場舗装工事	東京府	2,548
(株)佐藤機械製作所	佐藤機械製作所池上工場内舗装工事	東京府	5,650
大日本工作機械 工業(株)	構内舗装工事	東京府	5,578
中央土木(株)	日産構内舗装工事	東京府	16,513
小樽市役所	市内道路舗装工事	北海道	94,938

## ◀ 昭和15年 ▶

外務省	外務省構内道路舗装工事	東京府	3,028
東京工業大学	東京工業大学通路舗装工事	東京府	8,685
東京帝国大学 営繕課	帝国大学工学部第1号館前舗装工事	東京府	8,785
中央土木(株)	日産自動車志村作業工場	東京府	17,491
(株)清水組	池貝自動車工場内通路舗装工事	東京府	17,565
日産土木(株)	日産自動車志村工場広場舗装工事及工場前道路舗装工事	東京府	10,859
新日本航空機 工業(株)	立川工場構内道路舗装工事	東京府	19,916
(株)わかもと本舗	わかもと砦工場構内舗装工事	東京府	9,985
桐生市役所	桐生市道芳町地内幸橋通及本町旭町地内道路舗装工事	群馬県	13,071
帝国自動車工業(株)	帝国自動車川崎工場内舗装工事	神奈川県	166,983
静岡県庁	指定府県道三島熱海線路面乳剤工事	静岡県	26,500

## ◀ 昭和16年 ▶

(株)清水組	中島航空金属会社田無駅入口舗装工事其他	東京府	42,395
(株)清水組	特殊工事	東京府	340,000
慶応病院	慶応大学病院構内道路舗装工事	東京府	3,310
日産土木(株)	帝国火工品製造(株)川越工場内舗装工事	埼玉県	4,626
帝国自動車工業(株)	鶴見工場構内舗装工事	神奈川県	29,239
静岡県庁	府県道三島熱海線道路舗装附帯工事	静岡県	8,731

## ◀ 昭和17年 ▶

日産土木(株)	志村在日産自動車販売(株)広場舗装工事	東京府	15,481
---------	---------------------	-----	--------

発注先	工 事 名	場 所	請負金額(円)
帝国自動車工業(株)	工場脇道路舗装工事其他	神奈川県	13,443
帝国自動車工業(株)	防空室設置工事其他	神奈川県	31,318
(株) 清 水 組	特殊工事		123,536
(株) 清 水 組	特殊工事		339,362

## ◀ 昭和18年 ▶

東京市役所	蒲田区御園町地内道路舗装工事	東京都	7,700
(株) 清 水 組	六櫻社淀橋工場舗装工事	東京都	7,700
東武鉄道(株)	前橋渋川間併用軌道舗装工事	群馬県	54,767
(株) 清 水 組	特殊工事		102,256
(株) 清 水 組	特殊工事		1,000,000
東亜コンクリート(株)	特殊工事		517,365

## ◀ 昭和19年 ▶

千葉製作所	千葉製作所工場工事	千葉県	3,700
(株) 清 水 組	中島浜松工場工事	静岡県	178,671
(株) 清 水 組	半田中島滑走路工事	愛知県	578,195
東亜コンクリート(株)	「ヒチ」道路工事		338,521

## ◀ 昭和20年 ▶

中島飛行機(株)	宇都宮道路第1期工事	栃木県	735,902
中島飛行機(株)	宇都宮工場床工事	栃木県	806,133
中島瓦斯電気(株)	中島瓦斯電気工場	栃木県	10,807
富士産業(株)	富士産業半田工場内堤防工事	愛知県	44,132
仙台市役所	仙台市内道路工事	宮城県	38,232
日立航空機(株)	千特工事	東京都	20,860